

バリアフリー委員会軌跡

1999年、本学に聴覚に障がいを持つ学生が入学し、その翌年に学生たちによる情報保障の取り組みが始まりました。また2001年から「バリアフリー委員会」と名称を変え、教職員も含む新体制になりました。それから現在に至り当委員会では、聴覚に障がいを持つ学生にはノートやパソコンを使っての情報保障、四肢が不自由な学生には筆記代行や通学・移動介助など大学生活での支援を行っています。



世話人代表 新國三千代



学習支援室 井上寿枝

バリアフリー委員会は、学生・教職員なら、“いつでも、誰でも参加できる組織”です。設立以来、障がいを抱える学生と支援学生たちが中心となり、教職員と協力して、誰にとっても学びやすい環境づくりをめざして、地道な活動を続けてきました。

多くの学生のみさんの参加をお待ちしています。

大学へのアクセス

JR大麻駅から
徒歩10分



バリアフリー委員会メールアドレス

sgu_bfc@sgu.ac.jp

QRコードはこちら



バリアフリー委員会Webページ

<http://www.sgu.ac.jp/bfc/>



人文学部人間科学学科 3年
平 大樹

みなさんこんにちは。2013年度バリアフリー委員会学生代表の平大樹です。本学のバリアフリー委員会では、障がいを抱えながら学生生活を送る学生のために様々な支援活動を行っています。障がいがあるなしに関わらず、みんなで楽しく活動しているので、興味のある方は是非一緒に活動しましょう！

----- DATA (2012年度) -----

会員数：約 109名(2013年3月現在)

～情報保障～

利用学生：7名/ テイカー実数：前期24名、後期25名
配置科目数：87科目(前期44科目、後期43科目)
テイカー配置総コマ数：約1,400コマ

～通学移動介助～

利用学生：5名/ 支援学生実数：42名



札幌学院大学 バリアフリー委員会



制作 バリアフリー委員会広報部

発行日 2013年4月